

東京電機大学大学院理工学研究科規則

(平成 22 年 3 月 9 日)

(規 4 第 82 号)

第 1 章 総 則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、東京電機大学大学院学則（以下「大学院則」という。）第 3 条第 2 項に基づき、理工学研究科（以下「本研究科」という。）の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的、学年及び学科、教育課程、課程修了の要件その他大学院学則施行上必要な事項を定める。

(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)

第 2 条 本研究科は、急速に進化する科学技術と多様化する価値観に対応できる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目的とします。そのために、理工学の専門分野における基礎力を強化すると共に、専門の教育・研究を通して他分野を眺められる広い視野を涵養する教育研究を行います。

すなわち、知識を集積するだけでなく、問題意識を持ち、自ら考え、問題解決能力、応用力を養う教育を実践し、創造性豊かな人材を養成します。

また併せて、教育に関する高度な専門性を兼ね備えた学校教員を育成します。

2 本研究科の各専攻における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) 理学専攻は、応用分野の広さから現代の科学技術社会の理論的支柱となっている理学諸分野において、物事を論理的に考察し、柔軟に対応のできる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目的とします。そのために、数理科学・物質化学の分野から、専門的知識・技術の涵養をはかるとともに、論理的思考力が身に付くような教育研究を行います。

すなわち、将来の科学技術社会の理論的支柱となり、更なる発展へ本質的に貢献できる人材を養成します。

また併せて、教育に関する高度な専門性を兼ね備えた学校教員を育成します。

(2) 生命理工学専攻は、生命現象に関する種々の謎の解明や人類の直面する諸問題（医療問題、環境問題、食糧問題など）の解決に対応できる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目

的とします。そのために、生命理工学分野における基礎力を強化するとともに、専門性の深化を図る教育研究を行います。

すなわち、各専門分野の細分化が進む前記の諸問題に、深い教養と学際的な視点から取り組むことのできる人材を養成します。

また併せて、教育に関する高度な専門性を兼ね備えた学校教員を育成します。

(3) 情報学専攻は、情報技術の進歩に伴いますます発展し多様化する高度情報化社会の要請に応え、その基盤となる情報学の発展に貢献できる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目的とします。そのために、理工学から社会科学・人文科学の領域にまで拡大した学際的な学術分野である情報学の各分野の、分野横断的・文理複合的な教育研究を行います。

すなわち、幅広い専門知識をもち、多角的で総合的な判断能力と問題解決能力を有する高度かつ先端的な人材を養成します。

また併せて、教育に関する高度な専門性を兼ね備えた学校教員を育成します。

(4) 電子・機械工学専攻は、電気・電子工学、機械工学を基盤として、科学技術の進歩とその変革、産1業の拡大などに伴い多様化する高度技術社会に対応できる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目的とします。そのために、電気・電子工学、機械工学の基礎力の強化と共に応用力が身につく教育研究を行います。

すなわち、学際的な専門知識と技術力を持って、社会に貢献できる創造性豊かな人材を養成します。

また併せて、教育に関する高度な専門性を兼ね備えた学校教員を育成します。

(5) 建築・都市環境学専攻は、建築、土木工学、都市環境学などの専門知識をもとにして、社会が要請する都市づくりや建築に柔軟に対応できる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目的とします。そのため、建設分野の基礎力を強化するのみならず、人間、社会、環境に配慮できる建設技術を身につけられる教育研究を行います。

すなわち、専門知識のみならず、多様な価値観に配慮して自ら問題を解決することができる創造性豊かな人材を養成します。

また併せて、教育に関する高度な専門性を兼ね備えた学校教員を育成します。

第 2 章 学年及び学期

(学年・学期)

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年を、次の2つに分ける。

前学期 4月1日から9月14日まで

後学期 9月15日から翌年3月31日まで

第3章 教育課程

(授業科目・単位等)

第4条 本研究科における授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

第4章 成績及び修了

(成績評価・単位認定)

第5条 本研究科は大学院則第22条に基づき、科目の成績評価を行う。

2 本研究科における、成績評価及びGPA (Grade Point Average) ポイントは、次の評点区分に基づき行う。

評点	成績評価	GPAポイント
90~100	S	4
80~89	A	3
70~79	B	2
60~69	C	1
0~59	D	0
放棄	—	0

(修士課程修了の要件)

第6条 本研究科において修士課程を修了するには、2年以上在学し、自由科目を除き、所要科目30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた業績をあげた者については、1年以上の在学で修了を認めることができる。

第5章 改正

(改正)

第7条 この規則の改正は、本研究科委員会の議を経なければならない。

附 則

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

2 この規則は、平成23年3月8日に第4条別表第1(理工学研究科の授業科目及び単位数)を改正し、平成23年4月1日から施行する。

3 この規則は、平成24年3月13日に第5条を追加し、次条以下を繰り下げ、第4章、第4条別表第1(理工学研究科の授業科目及び単位数)を改正し、平成24年4月1日から施行する。

ただし、平成23年度以前に入学された者の成績評価及びGPA(Grade Point Average)ポイントの評点区分については、第5条第2項の定めに係らず、次のとおりとする。

評点	成績評価	GPAポイント
90~100	S	5
80~89	A	4
70~79	B	3
60~69	C	2
0~59	D	0
放棄	—	0

4 この規則は、平成24年4月10日に第2条(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)、第4条別表第1(理工学研究科の授業科目および単位数)を改正、第6条第2項(修士課程修了の要件)を削除し、平成25年4月1日から施行する。ただし、平成24年度以前に入学した者における修士課程修了の要件については、第6条の定めにかかわらず、修士課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができるものとする。

(東京電機大学大学院理工学研究科修士課程デザイン工学専攻の存続に関する経過措置)

大学院理工学研究科修士課程デザイン工学専攻は改正後の第2条、第4条別表1および第6条の規定にかかわらず、平成25年3月31日に当該専攻に在学する学生が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

5 この規則は、平成26年3月11日に第4条別表第1(理工学研究科の授業科目及び単位数)を改正し、平成26年4月1日から施行する。

6 この規則は、平成 27 年 3 月 24 日に第 4 条別表第 1 (理工学研究科の授業科目及び単位数)、第 6 条を改正し、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

7 この規則は、平成 27 年 3 月 24 日に第 5 条 (成績評価・単位認定) を改正し、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

8 この規則は、平成 28 年 3 月 8 日に第 2 条 (人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)、第 3 条第 2 項 (学年・学期)、第 4 条別表第 1 (理工学研究科の授業科目及び単位数) を改正し、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1 理工学研究科の授業科目及び単位数

理学専攻

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択	
解析学A		2	
解析学B		2	
代数学A		2	
代数学B		2	
幾何学A		2	
幾何学B		2	
解析学特論A		2	
解析学特論B		2	
代数幾何学特論A		2	
代数幾何学特論B		2	
代数学特論A		2	
代数学特論B		2	
離散幾何学A		2	
離散幾何学B		2	
数理システム理論		2	
ロバストシステム理論		2	
情報数学		2	
人工知能		2	
応用代数学		2	
確率システム理論		2	
確率過程論		2	
情報理論		2	
計算機ネットワーク特論		2	
計算量理論特論		2	
情報数理特論		2	
応用確率統計特論		2	
数理科学セミナー I		1	
数理科学セミナー II		1	同じ部門のセミナー I・II、特別研究 I・II の単位を修得すること
数理科学特別研究 I		4	
数理科学特別研究 II		4	
化学熱力学特論		2	
溶液化学		2	
物性化学特論		2	
反応化学特論		2	
電気化学特論		2	
界面化学特論		2	
コロイド科学特論		2	
有機合成化学特論		2	
高分子合成化学特論		2	
錯体化学特論		2	
計算化学特論		2	
生理活性有機化合物論		2	
植物細胞工学		2	
分子細胞生物学		2	
物性物理学特論		2	
物理学特論A		2	
物理学特論B		2	
物理学特論C		2	
物理学特論D		2	
物質科学輪講 I		2	
物質科学輪講 II		2	
物質科学セミナー I		1	
物質科学セミナー II		1	同じ部門のセミナー I・II、特別研究 I・II の単位を修得すること
物質科学特別研究 I		4	
物質科学特別研究 II		4	
数理科学基礎		2	
統計物理学特論		2	
数理物理学		2	
理学インターンシップ		2	
理工学特論A		2	
理工学特論B		2	
バイオメディカル・エンジニアリング概論		2	
MO T 概論		2	
MO E 概論		2	
科学英語		2	

生命理工学専攻

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択	
生理活性有機化合物論		2	
化学熱力学特論		2	
生理化学		2	
界面化学特論		2	
コロイド科学特論		2	
物性化学特論		2	
生体システム科学		2	
低温生物学		2	
植物環境工学		2	
植物細胞工学		2	
食品バイオ工学		2	
生体組織工学		2	
バイオデータ解析		2	
生命科学セミナー I		1	同じ部門のセミナー I・II、特別研究 I・II の単位を修得すること
生命科学セミナー II		1	
生命科学特別研究 I		4	
生命科学特別研究 II		4	
物性物理学特論		2	
生物環境セミナー I		1	同じ部門のセミナー I・II、特別研究 I・II の単位を修得すること
生物環境セミナー II		1	
生物環境特別研究 I		4	
生物環境特別研究 II		4	
分子細胞生物学		2	
環境生物学		2	
臨床医学		2	
生命理工学インターンシップ		2	
理工学特論 A		2	
理工学特論 B		2	
バイオメディカル・エンジニアリング概論		2	
MOT 概論		2	
MOE 概論		2	
科学英語		2	

情報学専攻

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択	
システム設計論		2	
ロバストシステム理論		2	
数理システム理論		2	
確率システム理論		2	
組込みシステム特論		2	
プログラム言語論		2	
コンパイラ理論		2	
制御系設計論		2	
人工知能		2	
論理プログラミング		2	
データ工学特論		2	
ゲームとシミュレーション		2	
ゲームと計算		2	
応用サイバースペース論		2	
画像情報処理論		2	
感性工学特論		2	
計算量理論特論		2	
図形処理特論		2	
情報数理特論		2	
情報システムセミナー I		1	
情報システムセミナー II		1	同じ部門のセミナー I・II、特別
情報システム特別研究 I		4	研究 I・II の単位を修得すること
情報システム特別研究 II		4	
情報理論		2	
確率ネットワーク特論		2	
データマイニング		2	
ヒューマンインターフェース		2	
科学技術社会論		2	
情報倫理学		2	
視覚情報工学特論		2	
音楽とデザイン		2	
知能と認知		2	
空間演出デザイン特論		2	
情報デザインセミナー I		1	
情報デザインセミナー II		1	同じ部門のセミナー I・II、特別
情報デザイン特別研究 I		4	研究 I・II の単位を修得すること
情報デザイン特別研究 II		4	
応用代数学		2	
情報数学		2	
離散幾何学 A		2	
離散幾何学 B		2	
解析学 A		2	
解析学 B		2	
ソフトウェア開発工学特論		2	
情報産業論		2	
計算機アーキテクチャ特論		2	
計算機ネットワーク特論		2	
CADシステム特論		2	
アルゴリズム特論		2	
オートマトン		2	
言語・非言語情報特論		2	
情報コミュニケーション心理学		2	
確率過程論		2	
情報学インターンシップ		2	
理工学特論 A		2	
理工学特論 B		2	
バイオメディカル・エンジニアリング概論		2	
MOT 概論		2	
MOE 概論		2	
科学英語		2	

電子・機械工学専攻

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択	
電磁場計測論		2	
モーションコントロール特論		2	
パワーエレクトロニクス特論		2	
システム制御論		2	
生体情報工学特論		2	
生体材料工学特論		2	
臨床医学		2	
数値解析工学		2	
応用電磁気学		2	
医用工学		2	
レギュラトリーサイエンス特論		2	
産業電子工学		2	
画像情報工学		2	
応用電子工学セミナー I		1	同じ部門のセミナー I・II、特別研究 I・II の単位を修得すること
応用電子工学セミナー II		1	
応用電子工学特別研究 I		4	
応用電子工学特別研究 II		4	
材料科学特論		2	
先端材料特論		2	
材料力学特論		2	
工業技術標準特論		2	
医用福祉工学		2	
工作機械システム特論		2	
熱工学特論		2	
気体力学特論		2	
ロボット工学特論		2	
機能設計工学特論		2	
航空宇宙工学特論		2	
福祉工学特論		2	
品質工学特論		2	
機械システムセミナー I		1	同じ部門のセミナー I・II、特別研究 I・II の単位を修得すること
機械システムセミナー II		1	
機械システム特別研究 I		4	
機械システム特別研究 II		4	
バイオメカニクス特論		2	
再生医工学		2	
LSI 工学特論		2	
技術と経営		2	
電子・機械工学インターンシップ		2	
理工学特論 A		2	
理工学特論 B		2	
バイオメディカル・エンジニアリング概論		2	
MOT 概論		2	
MOE 概論		2	
科学英語		2	

建築・都市環境学専攻

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択	
応用水理学A		2	
応用水理学B		2	
環境流体力学A		2	
環境流体力学B		2	
流体力学特論		2	
弾性論		2	
有限要素法		2	
構造設計論		2	
鋼構造学特論		2	
振動論		2	
鉄筋コンクリート工学特論		2	
メンテナンス工学特論		2	
地盤工学特論		2	
地盤防災工学特論		2	
地震防災工学特論		2	
画像計測A		2	
画像計測B		2	
交通計画学特論		2	
プロジェクト評価特論		2	
リモートセンシング特論A		2	
リモートセンシング特論B		2	
建築空間論		2	
建築設計論		2	
建築設計演習A		4	
建築設計演習B		4	
建築インターンシップ		4	
建築・都市環境学インターンシップ		2	
建設環境デザイン工学セミナーI		1	
建築環境デザイン工学セミナーII		1	
建築環境デザイン工学特別研究I		4	
建築環境デザイン工学特別研究II		4	
理工学特論A		2	
理工学特論B		2	
バイオメディカル・エンジニアリング概論		2	
MOT概論		2	
MOE概論		2	
科学英語		2	